

15の事例から学ぶ

個人情報漏洩防止対策と発生時の対応

－個人情報漏洩は企業信用リスク－

介護業界では個人情報保護対策を軽視する傾向があります。介護事故と異なり裁判などの大きなトラブルになることがないからです。しかし、改正個人情報保護法では「ハンディのある人の個人情報は**配慮個人情報**」として、規制が厳しくなりました。つまり、介護事業者が取り扱う個人情報は、健常者とは異なるリスクが高い情報なのです。当然、漏洩事故が頻繁に起こればクレームでは済まされず、事業者の信用に大きく関わります。本セミナーでは15件の個人情報漏洩事故の事例から、防止対策と発生時の対応を解説いたします。

- 1.ヘルパーが車上荒らしてバックを盗まれ個人情報を漏洩
- 2.認知症利用者の髪にリボンを8つ結んで画像をブログにアップ
- 3.デイ利用者の電話番号を友達のセールスに教えたパート職員
- 4.バッグから書類が散乱し利用者の書類を紛失したケアマネ
- 5.オンライン面会の代わりにツイッターに利用者の写真を載せた施設
- 6.個人情報をFAXで誤送信、度重なる事務のミスに悩む施設長
- 7.外出行事の利用者の写真をインスタにアップした新人職員
- 8.息子さんに介護記録をメールに添付して送ったらクレームに
- 9.施設の広報誌に利用者の顔写真を掲載したら弟からクレームが
- 10.外出レクの写真を廊下の掲示板に貼り出したら家族クレームに
- 11.カンファレンスの書類をポケットに入れて帰りコンビニで紛失した職員
- 12.「入居者の友人」という人の電話にいていないに答えたら家族から抗議
- 13.居室にカメラを設置したいという息子の要求を断った介護付き有料
- 14.帰宅途中に仕事バッグをひったくられたケアマネ、家族が身辺警護要求
- 15.利用者のわいせつ行為を事業者に伝えたケアマネに賠償請求

※参加者は事例に目を通してからご参加下さい

➡[事例一覧] <http://anzennakaigo.sakura.ne.jp/jishu2/1027jire.pdf>

無料オンラインセミナー開催要領

- 開催日時:2025年10月27日 13:30～15:00
- 主催:株式会社安全な介護
- 講師:株式会社安全な介護 代表 山田滋
- 参加費:無料
- 参加方法:Zoomによるオンライン(接続PCは3台まで)
- 申込方法:下記URLからお申し込み下さい(10月20日締切)
<https://forms.gle/QpK8EiwovX69fzUY8>
お申込みいただいた方には、締め切り後に視聴用URLとテキストをメールで送付いたします。

講師プロフィール

山田 滋 大学卒業と同時に現あいおいニッセイ同和損害保険入社。2006年7月よりインターリスク総研主席コンサルタント、2013年5月末あいおいニッセイ同和損保を退社。2014年4月より現職。
高齢者施設や介護事業者と取り組み、現場で積み上げた実践に基づくリスクマネジメントの方法論は、「わかりやすく実践的」と好評。各種団体や施設の要請により年間150回のセミナーをこなす。

セミナーに関するお問い合わせは

株式会社安全な介護 セミナー事務局

mail:soudan@nanasha.co.jp